



山東幼稚園児との世代交流でプランター定植

多くの既存の各種団体活動が時代の流れにうまく対応できなく、窮地に追い込まれています。これまで長く、字単位で老人会活動がおこなわれていましたが、

新規加入者が極端に少なく、役員のなり手がなく、老人会活動が維持できなくなり、山東老ク連からの脱退が相次ぎ、今年度は六字のみで活動いたしております。本

部役員も三名に熊谷事務局長の四名で運営しております。当然に、これまでのような活動はできず、大幅な見直しをはかり、何とか山東老ク連の体面を維持いたしております。

はたして、四月当初に合同会議が開催され、昨年までの行事を大幅な見直し、今年度の行事計画並びに予算書を提出いたしましたが、各単老の支部長さんにご理解いただけるのか不安でありましたが、この事業計画案であれば、この少數会員でも、何とかお互いに協力すれば、一年間は乗り越えられそうなので、ご承認いただけました。

まず、五月二十三日（水）にグランドゴルフ大会が開催され、グランドゴルフ協会の全面的なご支援をいたしました。

六月二十九日、朝日地区が竜巻に巻き込まれ、甚大な被害を受けられ、心からお見舞い申し上げます。

こんな状況では、輪投げ・ペタンク大会の開催は、心情的にも無理であり、大会の中止をきめました。

長浜ドームで開催されますが米原市スポーツ大会には参加する予定です。

高齢者が住み慣れた自宅・地域で、高齢者が健康で生きがいのある暮らしを続けるためには、老人会の果たす役割は、大切であり、工夫次第で大きな成果を上げることができます。老人クラブの活動のモットーは「健康・友愛・奉仕」が基本であり、地域で支え合い、助け合うことができます大切になつていきます。

自宅に、こもりがちな高齢者には、あいさつなどの声掛け・話し相手・一緒に買い物・一緒にゴミだしななどを通して、外出をうながし、いつも気を遣い、高齢者の見守りなどの活動が、地域の老人会と各自治会とがコラボして、地域を支えていくことが求められています。これらの活動がうまく機能できるように、山東老ク連としても、各種関係者と一緒に考えていきたい。

花いっぱい運動のように、山東老ク連だけでは、体力・人手が不足する中で、他の団体の力を借り、共同主催で、高齢者に必要な行事を推進していくことも考えていかねばなりません。健康教室や健康体操やウォーキングなど地域の子ども会や女性の会等と一緒になつて、無理なく、定期的に行い、

# 山東老ク連の現状と今後の展望について

## 山東老ク連会長 瀬戸川 恒雄

第87号

平成30年9月1日  
山東老人クラブ  
連合会

ました。大会も大いに盛り上がり、参加された会員からも喜んでいただきました。

六月十三日に健康ウォーク大会が開催されました。が、翌日はシルバー青年俱楽部の花いっぱい運動の定植作業が控えており、参加者は少なく、残念でした。

長年、先輩諸氏が頑張つてこられた、山東老ク連の

看板的な行事である、花いっぱい運動は、何とか維持しあくて、作業内容と配布先を大幅に見直し、山東幼稚園の協力をいただき、園児たちといっしょになつて、定植作業ができました。園児たちの元気な力をもらい、楽しくできました。今後の老人会の方向性として、他の団体と共同で行事を進めていくことが大切になつていきます。

六月二十九日、朝日地区が竜巻に巻き込まれ、甚大な被害を受けられ、心からお見舞い申し上げます。

こんな状況では、輪投げ・ペタンク大会の開催は、心的にも無理であり、大会の中止をきめました。

長浜ドームで開催されますが米原市スポーツ大会には参加する予定です。

高齢者が住み慣れた自宅・



六十五歳の時に入会の勧誘がありました。当時は老人会の言葉に抵抗感がありあまり気が良い事ではなかったことを思い出しますお付き合いの一つの感じで入会し、役を頂くまでは個人事務所の仕事をしていくまですし、行事は殆ど平日なので

組長をした年以外は、年に一～二回程しか出席していませんでした。そんな状況でもう七年が経ち齢の順番で昨年副会長、今年会長をさせて頂くこととなりました。

こんな私が意見を言うのもおこがましいですが、近年会員の中では、老々連参

老人会役員になり思うこと

村居田老人会(長楽会)会長

岡田  
博夫

参加証などを発行して、みんなで楽しく会話しながら、継続して実施できるよう工夫次第で有意義な活動ができます。

これまでの各単老でまとまって参加するだけでなく、自分の趣味ややりたい事に個人的に参加することも大事になってしまいます。

ますます高齢者が増加す

る中で、地域と行政と老人会などの福祉団体が密接に連携しながら、超高齢化に対応しなければなりません。何とか、今年度は山東老人連として出発できました  
が、今年の成果を踏まえ、各支部長さんと議論を深め、今後の在り方を模索いたし、山東老人連の方向性を決めていきたいと思っております。

年金をもらい、国民として平常な生活するにはなかなか困難な時代である。平常な生活とはどういうことかな。「健康でありたい」「友も持ちたい」「奉仕心を持ちたい」こんな生活は平常を超えていいのかな、とても出来ないことがあるかな。私はそんな生活が平常な生活と思う。

今後の老人の生活は—

「知症」との戦いになると、いつても過言ではない。国は「働くがざるもの食うべからず的」な政策を掲げる。今後、地域の生活は老人なくして出来るものではない。きっと国の政策は、地域の支え合いを老人対応支援有料化でないかなと思う。ならば老人会的な地域グループ無しでは実施出来ない。市や社協

と一体化した地域グループが支援して初めて可能。私は七十六歳、まだまだ生きたいし、自分の思いは皆さんといろんな活動しながら、二〇二七年までどうしても元気に生きたいな、無理かな!?また、老人会名称をえて地域を活性化するような名前がいいな。今、そんな思い、欲深いかな。

七十六歳今思う自分の生き方は

梓すみれ会 岩崎文松

とに、老ク連加入老人会の半数が今年は脱退し、存続の危機に成っています。

そこで、なにが問題なのか私なりに考えますと、老ク連の行事が平日であり、役員やその候補者の多くが仕事をしていること、また頼み込みで行事に人集めをしなければならない実態もある。そこまでして、参加する意義が理解出来ていな

ていけば、結局自分自身を孤独な環境に陥らせてはいけないと思います。老人の私たちは考えないと会の行事に積極的に参加する会員は、人と話すのが楽しいからと言われます。核家族化した家庭が多く、連

ら断ち切る事にも繋がります。恩恵を受けることは自分達が行動しなければならない面がある事を理解しそれをはたすことが必要なことを再認識して、老人会や連合会の存続意義を考え直す時期ではないかとも思っています。

大鹿寿会の第一四半期のあゆみ

大鹿寿会 会長

奥原 喜一郎

大鹿寿会は数え六十五歳になりますと入会資格がで  
きます。

会員六十三名という小さな組織ですが、元気の良い方が多く、何かの集いがありますと賑やかな声が聞こえ、笑い声が響きとても活気があります。

てお花見会を開催しました。参加者は三十七名と過半数を超える会員に参加して頂きました。

また、七月二十一日に木之本町古橋にあります「己高庵」という料理旅館へ日帰旅行に行つてきました。近くの「己高閣」には奈良・平安時代の仏像が収納されており、当時栄えた山岳仏

教の一端を偲ぶことができました。秋には紅葉で有名な鶴足寺もあり、観光には持つてこいの場所だと思います。

大鹿には二十年以上続いております「託老」があります。「託老」には数え七十五歳になると参加でき年間十回開催しております。女性ボランティアの方々が作つて下さつた料理を食べ簡単な研修などを行うふれあいの場です。ボランティアの方々には本当に感謝です。区民の皆様のご協力を得て、いつまでも続けていければと思つております。

本年の二月に、私と他三名が朝日長寿会の新役員として選出され、四月より未熟ながらその任を遂行させて頂いております。

託老事業の一環

以上の方を対象に「日々の

「会」を年八回開催しております。手伝いをお願いしているボランティアの方も、発足当初は二十七名おられ

朝日長寿会のあゆみ

会長 松居雅文

受けられまし



編集後記

自宅にこもりがちな方に  
あいさつなどの声かけや話  
相手、一緒に買物、一緒に  
ゴミだしなどを通して、外  
出をうながし、いつも気配  
りし、ひとり暮らしや高齢世  
帯など対象となる方を平時  
から見守る活動体制作りが  
自治会ごとに進んでいます。  
移動や買物がボタン一つ  
で生活できるようになつた  
今こそ、隣人宅まで出向き、  
声かけや見守りなどの活動  
を自治会組織や老人会を始  
めとした地域住民で進めて  
いければと考えています。

本年の二月に、私と他三名が朝日長寿会の新役員として選出され、四月より未熟ながらその任を遂行させて頂いております。

託老事業の一環として、七十五歳以上の方を対象に「百々の会」を年八回開催しております。手伝いをお願いしているボランティアの方も、発足当初は二十七名おられました。

朝日長寿会のあゆみ

会長 松居 雅文

を受けられました  
方々に改めてお見舞い申し上げます

と共に、少しでも早く復興されるように、また、一日も早く心身共に癒される日が訪れる事を祈念申し上げ文を終らせていただきます。

たのが現在は十二名となり、月二十九日に突然風速六十五メートルの竜巻に北方しでも和んでいただくこと夫馬・朝日地区が襲われ大変な被害が発生致しました。被害を



優勝 朝日A (243)  
 準優勝 村居田A (254)  
 第3位 大鹿B (256)  
 第4位 野一色B (258)  
 ホールインワン賞 (1番指定) 児玉久之 (大鹿)  
     岩崎直子 (梓)  
     堀内淑江 (村居田)

なお入賞チームは、9月に長浜ドームで開催される米原市老ク連スポーツ大会に参加されます。

## 朝日Aが圧倒 グラウンドゴルフ大会

小雨降る5月23日、山東グラウンドで、老ク連グラウンドゴルフ大会が山東グラウンドゴルフ連盟の協力を得て開催されました。

最高齢者の寺村誠樹さんの選手宣誓のもと、73人が日頃の練習の成果を発揮されました。

優勝は、2位以下に圧倒的な差をつけて朝日Aが獲得されました。入賞チームとホールインワン賞は次の方々。



## 今年もパンジーを定植 園児の声に元気もらう

6月14日、池下の花いっぱい運動作業場で、シルバー青年倶楽部によるパンジーとベゴニアの定植を行いました。

くつぎバーグと有機培養土を耕運機で攪拌し、プランター160個に定植する際に、山東幼稚園児55人が協力してくれました。

参加したシルバー青年倶楽部員は、園児たちの大きな歓声に元気をもらっていました。

